

泌尿器科 臨床研修プログラム

研修目的

泌尿器科領域の専門的知識および診断的、治療的手技を習得する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・泌尿器科の専門性を理解し、そのうえで泌尿器科の基本的な診断方法や手技を理解、実践する

B. 資質・能力

・泌尿器科外来において、問診や病歴作成を行う。泌尿器科診察を正確に行う。直腸診で前立腺疾患を鑑別する。適切な排尿管理ができるようになる。

C. 基本的診療業務

・基本的な泌尿器科疾患のプライマリ・ケアが適切に行えるようになる

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

・適切な泌尿器科コンサルトが行えるようになる

B. 資質・能力

・腹部超音波検査、泌尿器科のX線透視検査、膀胱尿道内視鏡検査を担当できるようになる

C. 基本的診療業務

・排尿の基本を理解し、適切に管理できる。周術期管理に参加する。代表的手術の執刀・助手として参加する。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

ローテーション終了時に研修内容を振り返り、何を学んだかを整理し、次のローテーション先で何を学ぶべきかなど話し合う時間を設ける。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	カンファレンス・回診、手術	手術	回診
火	カンファレンス、回診手術	外来	回診
水	カンファレンス、回診	前立腺生検	回診
木	回診、外来	透視検査	回診
金	回診、外来	ウロダイナミクススタディ	回診

指導責任者および指導医

指導責任者： 海法康裕

指導医： 諸角謙人、及川真亮、久木元隆、楠本大樹

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作製、プレゼンテーションなどの指導を行う。